

報道関係者向け「現地見学・意見交換」の開催

報道関係者（メディア）に茨城農業への理解や関心を高めてもらうことで、報道する機会が増え、国民への農業の理解醸成に結びつけることを目的に、現地見学・意見交換を開催

○ 施策分類

広報、再生可能エネルギー、農福連携

○ きっかけ・背景、課題の把握

農業の魅力をより多くの国民に伝えていくためには、報道関係者から情報発信を行ってもらうことが必要との問題意識の下、令和6年度に引き続き、本年度も企画の検討を開始。

○ 取組の内容

県内の優良事例として、「スポーツクラブからの企業参入」と「農福連携」の取り組みがあったところ、その取り組みを広く国民に伝えていただきたいという思いから、異業種から農業に参入した民間企業の協力・連携関係をテーマに「農業×福祉×スポーツの融合」を報道関係者向け現地見学・意見交換とすることを決定。

企画の検討にあたっては、作物の収穫・出荷の場面を提供できるように見学内容や時期を調整。

耕作放棄地を活用した「営農型太陽光発電施設」、多様な人材の活躍による「農福連携」の現地見学を開催し、現状や課題、将来展望について意見交換を実施。

○ 効果・成果、今後の方向性

参加した報道関係者の方々から多くの質問があり関心の高さが伺われ、後日、各種メディアに取り上げられた（新聞2社、ネット2社、ケーブルテレビ1社）。

当拠点と報道関係者との関係強化、また国民への農業の理解醸成を図っていく上でも、内容の充実と改善を図りながら来年度以降も継続的に実施していきたい。

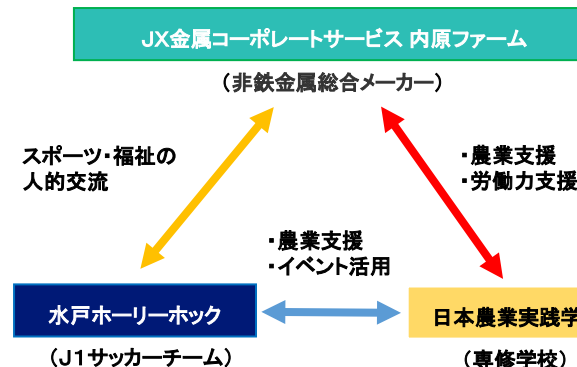


営農型太陽光発電施設



農福連携の作業現場

事業者連携図



体制図

